

組み換え予算のフレーム

- 1、浪費とムダをけずり、生み出された一般財源 1,790 億円と積立金など 507 億円を、都民のくらしと福祉、雇用、中小企業の緊急対策として積極的に予算化しました。同時に、あらたな都民施策の後退を許さず、これまで切りすてられた経済的給付事業をはじめとする福祉の水準を可能な限り回復する財源に充て、予算の均衡をはかりました。
- 2、都民本位の財政をめざし、大型公共事業を中心とした投資的経費の削減と生活密着型公共事業のさしひきで、都債発行を 870 億円減額しました。この結果、一般会計予算の規模 6兆5,176 億円となります。

歳出の減額 (47項目)	削減額 3,436億円	捻出される一般財源 1,790億円	都債の削減額 1,149億円
歳出の増額 (176項目)	増加額 2,632億円	必要となる一般財源 2,297億円	都債の発行額 279億円
差し引き	予算の増減額 804億円	財源の増減額 507億円	都債の増減額 870億円

* 捻出される一般財源と必要となる財源の差額 507 億円は、積立金などを活用し、また、都民負担になる使用料・手数料値上げや高校授業料なども値下げする。

(全体の一般会計予算規模)

予算案	増減額	編成替え後の予算規模
6兆5,980億円	804億円	6兆5,176億円